

SCJ 記録認定会 記録認定員規定

1 SCJ 記録認定会制度の目的

SCJ 記録認定会制度は以下の目的を有す。

1. スピードキュービングの健全な普及と発展のため、多数の方々にスピードキュービングの楽しさを知ってもらう機会を提供する。
2. 6面完成よりも前（例：1面完成等）の実力を認定する制度を提供する。
3. スピードキュービングに全く興味がない層とのコミュニケーションツールを提供する。

2 SCJ 記録認定員の条件

- 目的の理解
 - スピードキュービングジャパンの理念（スピードキュービングの健全な普及と発展）を理解し、また「1.SCJ 記録認定会制度の目的」を把握した上で、SCJ 記録認定会を開催できる方。
- 素養
 - 「公式記録を認定する」という社会的意味と責任を理解できる方。
 - SCJ 記録認定員としての影響力を理解し、それに沿った行動ができる方。
 - SCJ の信用を背負いながら認定をしているということを理解できる方。
- 意識
 - SCJ 記録認定会の品位と権威を保つために最大限の配慮ができる方。一度でも信用を失う行為をしてしまうと、その認定会のみならず他の認定会におけるキューバー（すなわち認定された全てのキューバー）に影響が出てしまうことを想像できる方。
 - スピードキュービングの健全な普及と発展のため、継続的かつ安定的に認定会を開催することをデザインできる方。
 - SCJ 記録認定会自体の制度設計に前向きに取り組める方。
- スピードキュービングの文化理解
 - スピードキュービングの競技及びイベント運営に関する知識を有している方。
 - SCJ 記録認定員自身のスピードキュービング記録や、段級位認定は問わない。しかし、円滑な企画監督のためには一定水準が必要だと考えるのが妥当である。

3 SCJ 記録認定員の認定方法

- 新規希望者は、SCJ にその旨を申請する。
- SCJ は、認定の可否を判断するために認定員候補者に対して面談を行うことがある。
- 認定の際は、いくつかの条件（認定期間や認定条件（最低開催回数）等）を設定できる。
- 申請承認後、SCJ へ入会する。会員の定義は SCJ 定款で定める。
 - 会員には SCJ の Microsoft Business Basic ライセンスを発行し、@speedcubing.or.jp ドメインの個人メールアドレス、Teams などのサービスを利用できる。
 - 住所、電話番号などの連絡先、および顔写真を SCJ に提出する。

4 SCJ 記録認定員の遵守事項

- 認定会において、自分が認定員であることを告知・提示しなければならない。
- 認定会において、不正行為又は操作を疑われることがないように努める。
- 認定会において、競技者間（例：スピードキュービング初学者と上級者）で差別する事象や雰囲気を作らないように努める。
- 開催した場合に開催結果を SCJ が指定する台帳に記載しなければならない。
- 認定会の品位と権威性を保つため、制度設計の更新議論に参加しなくてはならない。
- SCJ 記録認定制度はスピードキュービングを通じた交流を促すためのもので、過度な競争を煽るためのものではないことを意識し、特に初学者や年少者に対しては、教育的配慮を伴う適切な対応を行うように努める。

5 SCJ 記録認定員の解除

SCJ が不適と判断した場合は、SCJ 記録認定員の認定は即時解除される。その理由によっては、SCJ はその記録認定員が担当した過去の認定結果に対して、遡及的にすべての認定を取り消す場合がある。